

田中美貴子 MIKKO NEWS 議会報告



寒い日が続いておりますが、厳しい寒さを越えるからこそその暖かさを感じる事に、日に日に感謝する年齢となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

皆様から多くのご支援をいただき、京都府議会議員として活動をさせていただいております。

活動範囲は、広く大きくなりましたが、皆様とのご縁を大切にさせていただき、出張・議会以外、ほぼ毎日事務所におります。

宇治市議の時より心がけております、身近な議員としての活動を常に目指しておりますので、ぜひとも、事務所にお立ち寄り下さい。

これからも、しっかりと目に見える活動を皆様と一緒させていただきましますので、ご支援・ご指導をよろしくお願い申し上げます。

12月府議会で代表質問

1 女性が活躍できる社会の実現に向けた取組について

Q 田中
子どもを産み育てる女性が活躍できる社会の実現には、結婚・出産がキャリアアップとして捉えられ、多様な働き方を推奨し、女性のしなやかで豊かな感性が地域で発揮され、多くの見守りの中で活躍できる仕組みづくりが必要と考える。そのために、様々なロールモデルを情報発信し、光を当てることで、地域社会で過ごす女性の力となるようにすべきと考えるが、そういった女性の発掘と情報発信についてどのように考えているか、知事の所見を伺いたい。

A 答弁
「ロールモデル」がしっかりとしていること、そしてそうした方々がリーダーとして地域や色々なものを引っ張り、大きな交流の中で輝く未来を創っていくという観点が必要となってくる。本府において

は、「輝く女性応援京都会議」をオール京都で結成し、多様なロールモデルを地域の中で顕彰し、推奨し、京都ならではの、まさに女性が輝く運動として盛り上げていかねばならないと思っている。ありとあらゆる面において、女性活躍の基盤が構築されるように全力を挙げていきたい。

2 18歳選挙の実施に伴う学校での主権者教育の推進について

Q 田中
学校教育を中心とした主権者教育の確立に向け、民主党としても政策提言を行ってきたが、学校教育における主権者教育は、模擬投票でのテーマ選択等に配慮が必要であり、教職員の力量によるところが大きく、メディアリテラシーを考慮し、社会の一員として自覚を促すためにも、学校全体で取組を進めることが重要である。政治的中立を担保するためには、ルールを作